

2024
龍

有田史談会 月例通信

史談会ホームページ



～事務局より～

新年おめでとうございます
本年もよろしくお願いいたします

昨年度は、待望の大橋先生との会食&特別講座が開催出来たことが一番大きな活動になりました。

コロナ禍で講座開催が暗礁に乗り上げ、通常例会の開催も中断せざる状況が続きましたが、少しずつ以前の日常が戻っていて今後の活動が楽しみです。

年末には、大橋先生のご自宅へ講座のお礼とご挨拶を兼ねて坂井会長と二人で訪問しました。来春のご予定をお聞きしたところ、佐賀大学の講義が本年度で終了し少しゆとりが出来るとのこと。大橋先生から4月にでも講座を開催しましょうか？との嬉しいお返事を頂きました。先生のメールを待つこととなりますが、来期は大橋先生の講座でスタート出来そうです。

本年度の活動も3ヵ月を残すだけになりましたが、健康に留意しながら楽しい活動が継続できることを切に願っています。

会報原稿は20日までに事務局へ！

昨年同様、年末から早々に年初の「会報」の準備を開始しています。毎回最後の投稿が誰になるのか解らないまま過ごす1ヵ月です。一人でも多くの投稿を期待しながら準備をしていますが、投稿の状況次第で上手く収まりきるのか、毎回ハラハラドキドキしながらの編集作業が続きます。

編集は1面は事務局での作業になりますが、2面から投稿順に掲載しています。最後の2～3人の投稿の文章(文字数)次第であと一面増やすか、「あとがき」を無くすか迷ったりもします(笑)私の投稿を出来るだけ最後まで温存し、文章量を調整することも度々ですが、編集作業は大変ですが今回も頑張ります！

仕事がデキる人の秘訣

- 01 「挨拶」は「自分」から
- 02 「会話」は「傾聴」から
- 03 「感謝」は「身内」から
- 04 「説明」は「結論」から
- 05 「上達」は「真似」から
- 06 「自信」は「行動」から
- 07 「行動」は「今日」から

さて、仕事がデキる人の秘訣が Facebook に掲載されていました。

なるほど！と一念発起私も今日から行動して、来年に備えることにしました(笑) 皆様も会報原稿は早めに投稿下さいませよう、よろしくお願いいたします。

12月の三川内古窯跡めぐり！

三川内の古窯跡見学を実施しました。参加者は8名

【開催日時】12月8日(金)13:30～

【見学予定】三川内東窯跡・西窯跡、釜山神社など



好天气に恵まれ12月にしては暖かすぎる一日になりました。

※以下、みかわち焼のサイトから引用しました。

三川内皿山の歴史には、源を一つにする二つの流れがあり、一つは16世紀末に豊臣秀吉が朝鮮に出兵した「文禄・慶長の役」に始まります。

慶長3年(1598)、平戸藩の領主・松浦鎮信(まつらしげのぶ)は、帰国にあたって朝鮮の陶工を100人ほど連れて帰ります。朝鮮人陶工の巨関(こせき)は、中野村上椿坂[現在の長崎県平戸市]に開窯しました。これが現在のみかわち焼のルーツの一つになります。そしてもう一つ、それは同時期に佐賀県北部に誕生し朝鮮半島からの陶工によって急速に発展をとげた唐津焼(からつやき)からの流れです。

九州の最も早い時期の施釉陶器である唐津焼が焼かれていました。唐津焼はやがて日本で最初の磁器焼成につながる形で拡大し発展していきますが、現在の伊万里市や有田町、そして長崎県佐世保市など周辺に陶工も移っていきました。

唐津から椎ノ峯(しいのみね/伊万里市)に移った高麗媼(こうらいばば)[中里嬖(えい)]は、巨関に招かれて127人の陶工たちと共に三川内に移住し、長葉山(ながはやま)(現在の三川内山)に開窯します。